

《履修上の留意事項》2020年度開講なし。

《担当者名》百々尚美

【概要】

「脳と心の謎」について考えるために、中枢神経系、自律神経系、内分泌系、免疫系、骨格筋系、視覚-運動系についての生理心理学的知識を理解する科目である。

【学習目標】

生理心理学に関する基礎知識を習得し、精神機能をなう生体反応のメカニズムについて理解する。

1. 脳と心との関係について、基本的な知識を説明できる。
2. 精神機能をなう生体反応のメカニズムについて説明できる。
3. さまざまな科学技術の進歩が心の理解にどのようにかわるかを説明できる。

【学習内容】

回	テーマ	授業内容および学習課題	担当者
1	ガイダンス	生理心理学・精神生理学について概説する	百々尚美
2	脳神経系の解剖	脳神経の構造について知る	百々尚美
3	脳神経系の構造及び機能	脳神経系の構造及び情報伝達について知る	百々尚美
4	自律神経系の基礎	自律神経系の基本構造と働きについて知る	百々尚美
5	自律神経系の反応	自律神経系の測定方法と特徴的な反応について知る	百々尚美
6	注意	注意研究の変遷について知る	百々尚美
7	二つの脳	分離脳研究について知る	百々尚美
8	生物リズム	生物リズムのメカニズムについて知る	百々尚美
9	睡眠	睡眠のメカニズムを知る	百々尚美
10	ストレスの生理と心身の疾病	セリエの学説、汎適応症候群について知る	百々尚美
11	感情の生理心理学	感情研究について知る	百々尚美
12	バイオフィードバック	バイオフィードバック研究について知る	百々尚美

【評価方法】

授業中に行う小テストの結果（20%）、および定期試験の結果（80%）を総合して評価する。試験実施後、問い合わせがあった際には解答の要点を掲示する。

【備考】

教科書：使用しません。講義中に資料を配布します。

参考書：『心理生理学 心と脳の心理科学ハンドブック』北大路書房 2012年
『生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎』北大路書房 2017年
『生理心理学と精神生理学 第II巻 応用』北大路書房 2017年

その他：各学生がすべての講義に出席することを前提に講義を進めます。
講義に欠席した場合には、各自の責任において、その講義で配付された資料の有無、出された課題の有無などを確認し、必要な対応をとってください。
講義開始時に小テストを行う予定である。出席の確認は回収された小テストによってなされます。
欠席回数については各自で責任を持って管理してください(欠席回数についての問い合わせには原則応じません)。

【学習の準備】

シラバスの内容を参考に、参考書および講義資料を熟読し、講義内容を予習すること（80分）
講義内容を見直し、不明な点は関連書籍をもとに確認し、理解を深めておくこと（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

（DP3）言語聴覚士として必要な科学的知識や技術を備え、心身に障害を有する人、障害の発生が予測される人、さらにはそれら

の人々が営む生活に対して、地域包括ケアの視点から適切に対処できる実践的能力を身につけている。

【実務経験】

公認心理師の有資格者が行う。

【実務経験を活かした教育内容】

公認心理師としての臨床・研究の成果を反映させた講義内容となっている。